

情報公開文書

聖隷三方原病院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた検体やカルテ記録を利用することによって行います。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究の計画や方法について詳しくお知りになりたい場合、この研究に検体やカルテ記録を利用することをご了解いただけない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] がんによる神経障害性疼痛に対するオキシコドン、プレガバリン、およびタペンタドールの有効性と安全性の比較

[研究機関名] 聖隷三方原病院

[研究機関の長] 荻野和功

[研究責任者] 高科 嘉章 (薬剤部・薬剤師)

[研究の概要]

■ 目的・方法

研究期間：2021年6月～2021年11月末

目的：がん由来の神経障害性疼痛に対するオキシコドンとプレガバリン、およびタペンタドールの有効性と安全性を比較し、評価を行なうことを目的としています。

方法：通常診療の過程で記録されたカルテ情報より、神経障害性疼痛に対して上記の薬剤を使用したときの痛みの強さの変化や副作用、薬剤の用量を後ろ向きに研究します。

■ 対象となる患者さん

2019年1月～2021年9月に当院でがん由来の神経障害性疼痛の治療でオキシコドンのみ、タペンタドールとオキシコドンを併用、およびオキシコドンとプレガバリンを併用している患者さん

■ 研究に用いる試料・情報の種類

試料：なし

情報：年齢、性別、病歴、鎮痛薬治療の治療歴、副作用等の発生状況、血液検査結果（肝腎機能）等

[問い合わせ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先]

社会福祉法人 聖隷福祉事業団 総合病院 聖隷三方原病院

薬剤部 高科 嘉章

電話 053-436-1251 FAX 053-438-2971